



第1回ふくしま環境・リサイクル関連産業研究会 ～研究会の活動方針と方向性～

令和4年10月7日

福島県次世代産業課



ふくしま環境・リサイクル関連産業研究会について

～設立の経緯とこれまでの活動～



ふくしま環境・リサイクル関連産業研究会について①

【経緯】

- 平成26年6月
「福島・国際研究都市（イノベーション・コースト）構想」の主要プロジェクトの一つとして、最先端リサイクル事業などを柱とするスマート・エコパークが提言された。
- 平成27年3月
「スマート・エコパークに関する検討会」の中間整理において、「ふくしま環境・リサイクル関連産業研究会（仮称）」の設立計画が記載された。
- 平成27年8月
これを踏まえ、浜通り地域を中心に新たな環境・リサイクル産業の集積を図るため、「ふくしま環境・リサイクル関連産業研究会」を発足。

ふくしま環境・リサイクル関連産業研究会

研究開発、技術実証、
企業立地支援、情報発信

ネットワーク化、
検討深化

産業人材の育成



環境リサイクル分野に
おける新たな産業集積へ



ふくしま環境・リサイクル関連産業研究会について②

【目的】

環境・リサイクル分野において、県内外で産学官によるネットワークを形成し、研究開発や人材育成等に取り組むことで会員の技術基盤の強化と持続可能なリサイクルのシステムの構築を図り、新たな事業を生み出す。

これらを通じて、浜通り地域を中心に新たに環境・リサイクル産業の集積を進める。

- 設立日 平成27年8月10日
- 会長 中村 崇 先生（東北大名誉教授/福岡県リサイクル総合研究事業化センター長）
- 副会長 （一社）福島県産業資源循環協会 会長
福島県ハイテクプラザ所長
- 会員数 168企業・団体（R4.10.6時点）
- 費用 入会金、年会費等無料
- 活動内容
 - 環境・リサイクルに関する発表会、意見交換会の開催
 - 環境・リサイクル関連メーカーと県内企業との交流事業
 - 関連技術情報の共有化及び発信するための事業
 - その他、本研究会の目的を達成するために必要な事業



ふくしま環境・リサイクル関連産業研究会について③

平成28年4月から平成29年3月までに会員企業による4つの事業化WGを立ち上げ、事業化に向けて模索。平成29年度以降は、事務局主催のWGは開催せず、企業主体のWGへ移行。近年は年2回程度のセミナー開催が研究会の主な活動となるなど低調傾向であった。

※設立当時の体制

ふくしま環境・リサイクル関連産業研究会

会長：東北大学 中村教授

事務局：福島県(商工労働部産業創出課)

運営委託

スズクホールディングス(株)
(協力：(株)環境ビジネスエージェンシー)

連絡・調整・会議手配、進捗管理、資料作成等

WG運営委員会

委員長：中村研究会長
H27年度 事業化推進会議メンバー

WG方向性・運営方法等決定
WG進捗管理

オブザーバー

有識者(中村会長から紹介)
H27年度 事業化推進会議メンバー
その他、各WGに特化した関係者

相談 ▲ ▼ 助言等

石炭灰リサイクル事業化WG

リーダー：
(一財)石炭
エネルギーセンター

石炭灰リサイクル製品の販路拡大・無害化技術の検討

小型家電リサイクル事業化WG

リーダー：
(株)高良

小型家電リサイクルにおける浜通り版回収モデルの構築等検討

太陽光パネルリサイクル事業化WG

リーダー：
(株)リビングソーラー
サブリーダー：
(株)ケイコーポレーション

太陽光パネルのリユース・リサイクルシステム(ワンストップ)の在り方検討

浜通りにおける廃棄物処理システム構築WG

リーダー：
太平洋セメント(株)

浜通りにおける廃棄物処理システムの検討



令和4年度の研究会の活動方針と方向性について



エネルギー・環境・リサイクル関連産業推進事業(R4年度～)

事業の背景

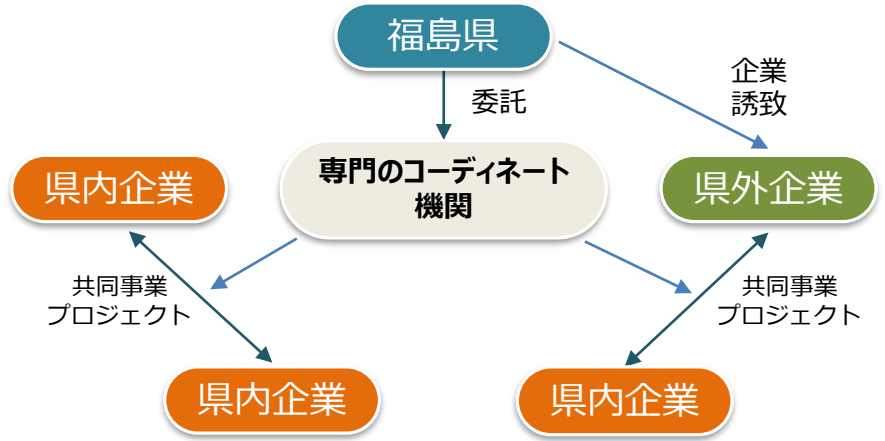
- ◆福島県では、これまで、「福島イノベーション・コースト構想」において「エネルギー・環境・リサイクル」を重点分野の一つとして掲げ、浜通り地域等におけるエネルギー・環境・リサイクル産業の構築に向け、産学官のネットワークの構築や地域復興に資する実用化開発を推進しています。
- ◆また、国は「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」を策定し、「蓄電池産業」、「カーボンリサイクル産業」、「資源循環関連産業」などの分野が重点分野として盛り込まれたところであります。
- ◆このような動きをより加速し、経済と環境の好循環から東日本大震災の復興につなげていくため、エネルギー・環境・リサイクル関連産業の創出と企業誘致に向けた取組を強化する必要があります。

関連産業集積に向けたロードマップ

取組	R4	R5	R6	R7以降
エネルギー・環境・リサイクル関連産業推進事業 ・セミナー ・事業化ワーキンググループ	セミナーの開催			
	産学官のネットワーク構築			
	事業化WGの立ち上げ			
	事業化WGへの支援			
↓ 支援				関連産業の集積
実用化開発 (県補助金)				
↓ 支援				
自社開発				
↓				
事業化・製品化・販路拡大				
企業誘致(企業立地課との連携)				

事業内容・イメージ

- ◆本事業では、平成27年に立ち上げた「ふくしま環境・リサイクル関連産業研究会」の活動（セミナーの開催等）を通じた産学官のネットワーク構築や、地元企業が行う地域復興に資する実用化開発への支援に加え、新規参入、事業化、販路拡大までを専門のコーディネート機関による一体的・総合的な支援を行うほか、エネルギー・環境・リサイクル分野の企業誘致を図るなど、関連産業の集積を推進します。



【想定される事業化プロジェクト】



太陽光パネル
リサイクル



バイオマス廃棄物
リサイクル



二次電池
リサイクル

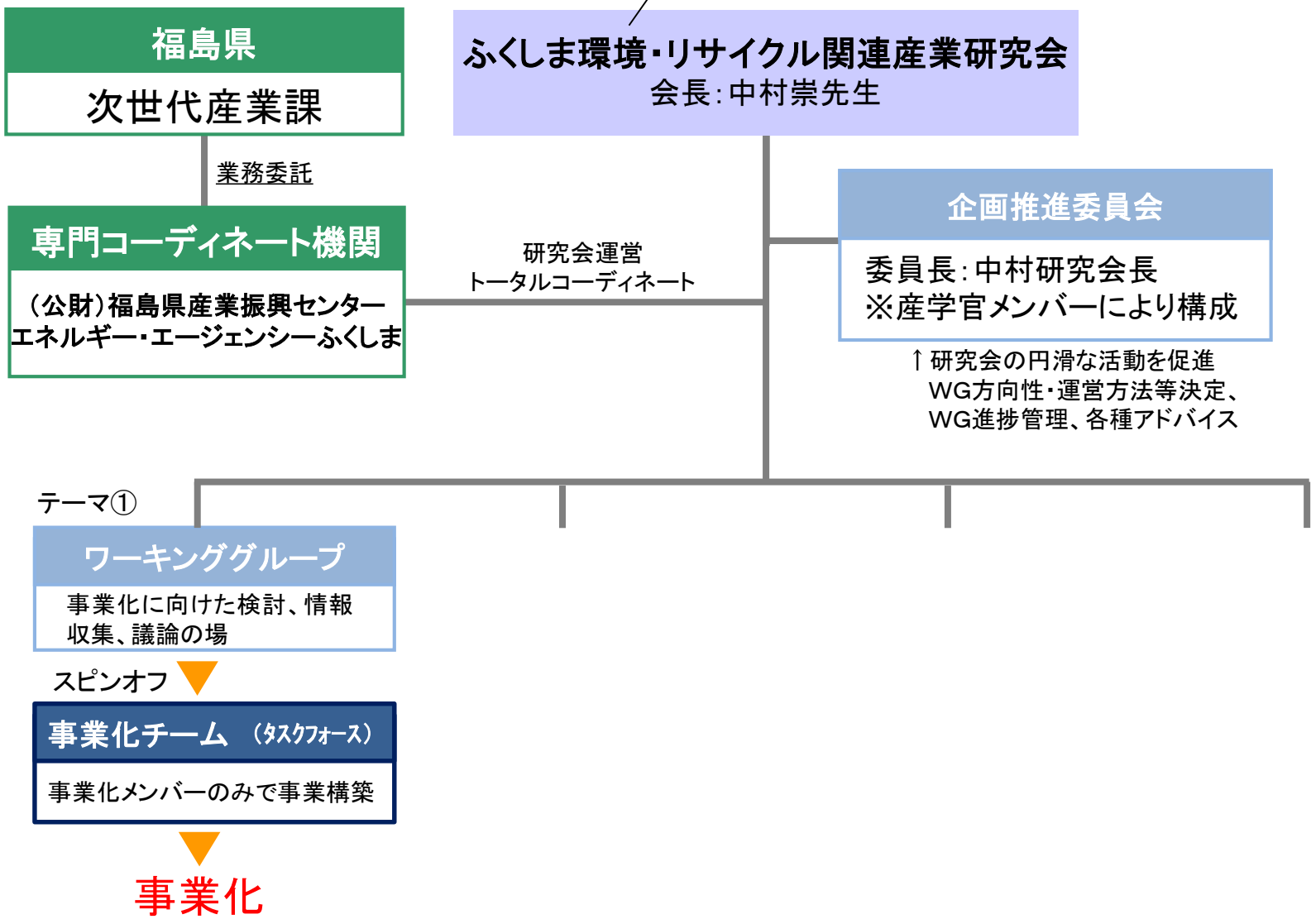


風力発電設備
リサイクル

エネルギー・環境・リサイクル関連産業推進事業推進体制 (研究会体制図)



※「ふくしまエネルギー・環境・リサイクル関連産業研究会」に改称予定



研究会の活動方針

3つのポイント

○エネルギーに重きを置いた環境・リサイクル

- これまでは、環境・リサイクルに関わる幅広い分野を対象に活動
 - 他方、福島イノベーション・コースト構想においては、「エネルギー・環境・リサイクル」を重点分野の1つとして位置付け
 - また、2050年カーボンニュートラルに向けて再生可能エネルギーのこれまで以上の導入拡大が期待されており、これに伴いリサイクル需要も高まることが見込まれ、新たなリサイクル技術の実証・実践等も必要
 - このため、本研究会ではエネルギーを新たな要素として付加し活動を推進
- ⇒ **研究会の名称を「ふくしまエネルギー・環境・リサイクル関連産業研究会」に改めることとしたい**

○浜通り地域等（イノベ区域15市町村）への裨益

- 福島イノベーション・コースト構想は浜通り地域等での新たな産業基盤の構築、自立的・持続的な産業発展の実現とその効果の県全体への波及を目指すもの
- エネルギー・環境・リサイクル分野における浜通り地域等での事業創出を目指し、会員企業同士による共同事業プロジェクト（事業化ワーキンググループ）を創出
- 共同事業プロジェクト（事業化ワーキンググループ）の代表は浜通り地域等の企業が務め本研究会会員企業で構成

○事業創出・関連産業支援

- 専門コーディネート機関による一体的・総合的な支援
- 事業創出や新技術の実用化に当たっては、県補助事業等を活用

令和4年度研究会の取組の方向性

○ネットワークによる産学官連携体制の構築

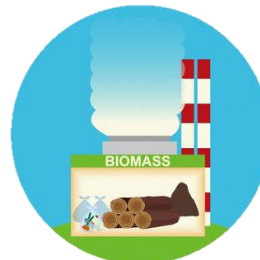
- 研究会（全体セミナー）の開催
エネルギー・環境・リサイクル分野を取り巻く最新技術や政策動向などに関する情報を提供する機会として、研究会（全体セミナー）を企画・開催。次回は2月頃を目途に、実（リアル）開催を検討。
- 会員企業の取組を情報発信
研究会ホームページを今後新設し、会員企業の取組に関する情報発信を強化するとともに、会員企業の事例発表をメインとしたセミナーなどを開催し、新たな仲間づくりや関係構築の機会を提供していく。

○会員企業による共同事業プロジェクト（ワーキンググループ（WG））の立ち上げ

- R4年度は新たな事業化WGを1つ以上立ち上げ
〈想定される事業化プロジェクト〉
 - ▶ 太陽光パネルリサイクルWG
 - ▶ バイオマス廃棄物リサイクルWG
 - ▶ その他（二次電池リサイクル、風力発電設備リサイクルなど）
- 会員企業の意向や時勢を捉え、福島発の取組や技術・製品の開発及び実用化支援に取り組む



太陽光パネルリサイクル



バイオマス廃棄物
リサイクル



二次電池リサイクル



風力発電設備リサイクル